



2018-2019年度

RI会長

バリー・ラシン

RIテーマ

BE THE INSPIRATION

国際ロータリー第2830地区

八戸北ロータリークラブ 会報

ガバナー ● 今井高志 会長 ● 山内一晃 幹事 ● 佐々木悦郎 SAA ● 神山智子

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6
八戸プラザホテル内

TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128

<http://www.8kitarc.com/>

例会日：毎週火曜日 12:30開会

9月 基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間

vol. 9

第 2329 回例会

2018.9.4

司会：神山智子SAA

- ・ RIテーマ
- 点鐘
- ・ 国歌斉唱
- ・ クラブソング
- ・ 4つのテスト

誕生日祝い



澤口忠彦会員



加藤光男会員

ご結婚祝い



大石 源会員

ゲストの紹介

イザベラ・マロニーさん

エラさんにお小遣い



楽しみです。ありがとうございます。

会長要件

山内一晃会長



会長要件のために色々勉強するとロータリーのことが分かってきて、へえそうなんだということがあって、皆さんと共有できれいと思っております。

9月1日、青少年交換第1回オリエンテーションに行きまして。参加者は佐々木則夫会員、エラ、私の3名です。インバウンド(受け入れ)は、当クラブと十和田、六ヶ所の3クラブでした。アウトバンドは4名です。

今月は「基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間」となっております。どういうことかということ、Rotary Internationalの教育の支援に関連した記事がありました。「読み書きのできない15歳以上の人の数は、世界に約7億7500万人。これは、全世界の成人の17%にあたります」日本ではビックリするような数字だと思います。「しかも、学校に通っていない子どもは世界に6700万人いると言われております」。ロータリーとしてどんな活動をしているかという話なんですが、まず5つほど書いてありまして、「教師を育てる：学校に行くだけでは識字率は高まらない。授業改革に乗り出したロータリーのアプローチとは」ということで「生徒の学力を伸ばすには、まず授業で教える側の力を伸ばす必要がある」「通学率よりも学習成果を重視」ということです。世界で読み書きのできない子どもの数は1億2200万人、アメリカの生活保護受給者のうち読み書きのできない人の割合75%もあるそうです。2番目に「ロータリーの奨学金：明日の変革を担う人材を育てるために、奨学金を通じて未来に投資しています」。3番目に「教員への研修：会員自らの経験と知識を生かしながら、社会的・経済的に恵まれない環境で教育に携わる人材を育成しています」。4番目に「成人の識字：地元の教育者や支援団体と協力し、読み書きを指導するプログラムを通じて成人の識字率向上に取り組んでいます」。5番目が「難民に教育の機会を：ナイジェリアでは大学長とロータリークラブが難民への教育と食糧の配給を通じてボコ・ハラムと闘っています」。ボコ・ハラムとはテロ集団だそうです。最近では全寮制学校の女子生徒300人あまりが眠っているところに銃口を突きつけて拉致したそうです。「ロータリー財団は、奨学金、教材や学用品の寄贈、奉仕プロジェクトを通じて、世界中で教育支援を行っています」ということで活動例に「学校をつくる、成人のための教育、テクノロジー研修、教員の研修、学校における水と衛生設備の改善」ということをやっているそうです。最後に「読み書きを教えることは、一生使えるスキルを教えることです。その恩恵は、ひとり、またひとりと、地域全体に波及します」というこ

とが載っております。

今月は「基本的教育と識字率向上月間」ということで、少しでもこういうことを考えながら過ごして頂ければと思います。

幹事報告

佐々木悦郎幹事



◎活動計画書44p平野薫会員の役職の訂正
取締役副社長執行役員→代表取締役社長

◎地区大会の参加人数が少ないので再々検討をお願いします。

◎9月のロータリーレート 112円

親睦委員会報告

音喜多泉会員

ニコニコBOX

八戸北RC

- 澤口忠彦会員：誕生祝ありがとうございます。
- 加藤光男会員：お久しぶりです。
- 大石 源会員：結婚祝いありがとうございます。
- 源新育子会員：早退失礼致します。
- 音喜多泉会員：イザベラさん、よろしく申し上げます。
- 片野 潤会員：早退失礼します。
- 平野榮子会員：イザベラさん、お待ちしております。よろしく申し上げます。

米山記念奨学金

- 佐々木悦郎幹事：
- 平野榮子会員：
- 平野 薫会員：
- 大沼 衛会員：

ポリオ・プラス

- 澤口忠彦会員：
- 奥寺良之会員：
- 千葉清彦会員：
- 神山智子会員：
- 小野晶子会員：

出席報告

本日の出席率	76.92%
前々回の修正出席率	77.50%

ロータリーの友を読んで 小田 正会員



今月は「ロータリーの友月間」です。皆さんのお手元にロータリーの友手引書というプリントをお配りしました。これを見ると『ロータリーの友』についてよく分かると思います。まず世界のロータリーの雑誌が載っています。日本は1953年1月横組みで創刊。1972年1月号から現在の縦組みと横組みの形式に変更になりました。2年後2020年に日本ロータリー100周年を迎えるにあたって、ロータリーの友編集委員会が立ちあがっています。

今月9月号の15pには「積んどく?いや、読んどく」というタイトルでロータリーの友地区代表委員の活動が紹介されています。また次のページには「『友』はネタづくりの材料」というタイトルで八戸RCの妻神和憲さんの文章が載っておりまして、『ロータリーの友』を使ったクラブ活動が紹介されています。読んでいくと、誰かが企画してやらないと出来ないことだと思いますが、「卓話で『友』の紹介をして、しっかり読み込むことで、ロータリーの基本理念や奉仕の精神について理解を深めることができた。」「『友』読後会と称して、お酒を飲みながらベテラン会員から新会員まで一堂に会し、色んな意見、考えが飛び交い貴重な話が出来た。『友』の話題から今後のこと、家族のこと、趣味や様々な話題になり、親睦を深める絶好の場となった」といったことが書いてあります。

私も「積んどく」の方です。八戸は観光都市として力を入れていて、はっち、ブックセンター、マチニワ、屋内リンクと箱物ができています。ただ人が集まらなければ維持できない、これからの運営の仕方だと思います。人を呼ぶためには楽しいイベントを企画して、人が来るようにしなければならない。中心商店街の方は熱心ですが、少し離れた方はそうでもない、一部の人達だけが参加しているマチニワのように感じます。そういったことに『友』がヒントになればいいなと思います。

大崎光明会員

私も『友』をなかなか読まず、なにかテーマと課題があると必然的に読まなければならないのかなと思います。それが良いか悪いか分かりませんが、必要にせまられないと手を出さない方なので、積極的に読んでいきたいと思っております。

来期幹事を仰せつかっておりますので、しっかり読んで頑張ろうと思っております。

神山智子会員

私も、一昨年、会長を仰せつかった時に、まずは自分のロータリーを知ること、世界のロータリーを知ることにも繋がるので、『友』を改めて読むようになりました。RIの世界の情報は、水や識字率、さらにポリオに思いを深めてみたり勉強させて頂きました。日本の国内では色んな所に出かけて慈善事業、奉仕活動をしたりしている様子が沢山のっておりました。特に震災後は復興に向けて色んな手を差し伸べている様子が沢山載っておりました。私どもは表立った活動はないのですが、活動の下支えをしているクラブかなと、北クラブは北クラブなりの支援を継続していると思っておりました。

私も最近、「積んどく」の方に入ってしまったがちですが、手元にある時は目を通すようにしております。『友』は話のネタにもなりますし会長要件のネタにもなります。会長を振られたときは深く読んでみるのもよろしいかなと思います。

点鐘

(誤字脱字がございましたらご容赦ください)